

野口英世よこはま顕彰会 入会案内

<https://noguchihideyo-yokohama.org/>



●本会が目的とする事業

- (1) 旧細菌検査室（横浜市金沢区長浜野口記念公園内）の利活用及び野口英世博士の偉業の顕彰を図る事業
- (2) 国登録有形文化財旧長濱検疫所一号停留所（横浜市金沢区海の公園内）と収蔵資料（横浜市中区よこはま新港合同庁舎横浜検疫所内）の利活用の推進事業
- (3) 次世代へ野口英世博士の偉業を伝え、科学する心を養うための事業
- (4) 野口英世博士ゆかりの各地との交流事業
- (5) 出版広報事業



海港検疫医官補制服姿での野口英世
(明治32(1899)年、22歳)
(公財)野口英世記念館 所蔵



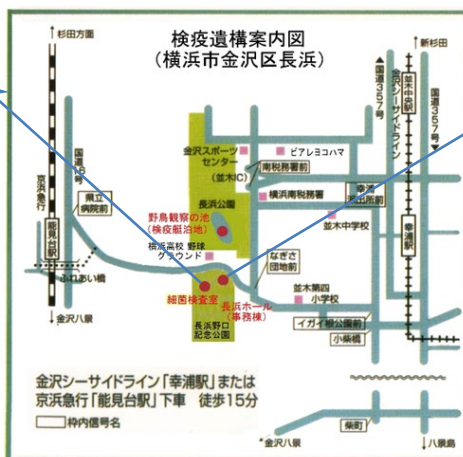
野口英世が細菌検査に従事した
旧細菌検査室

明治28(1895)年創建、
大正12(1923)年震災、
大正13(1924)年原型に復原。
昭和54(1979)年に始まる小暮葉満子氏らを中心とした18年間の懸命な保存運動が実り、
平成5(1993)年 周辺の土地と ※

※ 共に横浜市が国から払下げを受け、平成8(1996)年11月～9(1997)年2月 大規模補修。長浜野口記念公園も整備。同年5月 開館・開園。明治の姿のままに蘇り、今日に至る。現在、常時一般公開。長浜ホールが管理。

●細菌検査室と野口英世・長濱検疫所

- (1) 明治28(1895)年、外航船舶に対し伝染症の侵入を防止するため検疫を行う施設として長濱検疫所が設置されました。
- (2) 野口英世は、明治32(1899)年6月21日、長濱検疫所の海港検疫医官補として赴任しました。
- (3) 検疫医官補として赴任したその翌日に、折から入港した亜米利加丸の検疫に従事し、船倉で苦しんでいる船員から採血した血液を検疫所内の細菌検査室に持ち込み、顕微鏡検査でペスト菌を検出しました。
- (4) この出来事が野口英世の名を一躍伝染病の医師等に知らしめることとなり、世界に飛躍するきっかけとなりました。



長浜ホール(旧事務所)

長濱検疫所内に事務所として
明治28(1895)年創建、
大正12(1923)年震災、
大正13(1924)年新規設計で再建、
昭和60(1985)年他の建物とともに解体、平成9(1997)年長浜ホールとして外観を中心に震災再建後の姿を現在地に復元。



国登録有形文化財 旧長濱検疫所一号停留所

長濱検疫所敷地内に明治28(1895)年創建、大正12(1923)年震災、大正13(1924)年原型に復原。平成30(2018)年国の登録有形文化財(建造物)に登録。令和7(2025)年海の公園に移築復原。令和8(2026)年8月10日開館、同日、スターバックスコーヒー横浜海の公園店開店。



《年会費》 個人会員:3,000円、団体会員:5,000円、学生会員:1,000円、
個人賛助会員:5,000円(1口)以上、団体賛助会員:10,000円(1口)以上

《申込・問合せ先》

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2-10-21-203
ラヴィドール武蔵境 染谷優児 方

野口英世よこはま顕彰会 事務局

TEL/FAX: 0422-33-5837

e-mail: noguchihideyo.yokohama.org@gmail.com

★お申し込みは、〒、住所、氏名、年齢、電話、携帯電話、e-mail を事務局までお知らせください。

